

2018年度 苦情・事故状況

<事故>

日時	内容	結果	検証及び課題
4月	牛乳が未接種である子どもに誤って牛乳を提供してしまう。数口飲んだ後に気が付き、口周辺に発赤が見られる。	流水で口元を洗い、保冷剤で冷やした後、保護者から預かっていた塗薬を塗布する。その後、症状は治まり回復に向かう。	子どもの食事段階やアレルギーの有無に関して全職員で周知すること、又、提供の際には必ず複数の職員で確認をする。
6月	保育者が抱っこしている子どもの姿勢を変えようとした時にバランスが崩れ、抱えていた腕から転落する。その際に左側頭部を玩具棚で打つ。	頭部打撲の為受診する。CT検査の後、画像診断及び視診にて異常は認められず。そのまま回復に向かう。	周囲の安全を確認したうえで抱っこをするなど、乳児の体の動きを十分に予測しながら保育者の姿勢を整えるようにする。
11月	公園にて、遊具の方へ向かって走っていた子どもが躓いて転倒する。躓いた場所に石や枝が落ちており、額の中央部分を縦に1.5cm程裂傷する。	患部を止血した後に受診し、医療用ステープラーにて1か所縫合する。翌日を含め3回再診し、完治する。	戸外での危険カ所をあらかじめ職員間で共有し、子どもたちが十分に活動できるよう注意する。

<苦情>

日時	内容	検討及び課題
7月	数日間降り続いた大雨の影響で、保育園隣の解体工事現場から隣宅の敷地駐車場内に泥や枯れ葉が流れて詰まっている。	毎朝、保育園の職員が側溝の掃除を行っていることに加えて、日中も枯れ葉やゴミが詰まっているか確認し、掃除を徹底していく。

2019年3月31日現在